

単元の目標

- (1) 身近な消費生活を中心に、経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などの仕組みや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の内容、社会資本の整備、環境の保全、社会保障の充実・安定化、消費者の保護について理解することができる。
- (2) 個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察したり、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について公正に判断したりしその過程や結果を適切に表現することができる。
- (3) 市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題や解決方法を考える活動を通して、主体的に社会に関わろうとする。

標準的な展開例

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 経済の仕組みについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漫画「ハンバーガーショップから見る経済の仕組み」を読み、単元の学習問題をつかむ。 ● 私たちの生活を支える経済活動は、どのような仕組みで成り立っているのだろう。 ★ 私たちと経済の仕組みは、どう関係しているのだろう。 ○ 限りある資源の使い方について考える。 ○ 資源と選択の効率性について知る。 ○ 経済の循環について調べる。 ○ 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。 ■ 市場経済において、消費生活はどのような意味で大切なのだろう。 <p>2 経済活動と貨幣の役割について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 私たちは経済活動によって、どのように豊かになれるのだろう。 ○ 社会生活で見られる分業と交換について話し合う。 ○ 生産活動における分業について調べる。 ○ 経済活動が私たちの生活に与える影響について説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 分業と交換により、貴重な資源や時間、労力を無駄にすることなく、効率的に欲しいものやサービスを手に入れることができ、浮いた時間などを他のことに回せるため、私たちの生活は豊かになる。 <p>3 私たちの消費生活について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 消費生活は、何によって支えられているのだろう。 ○ 身の回りにある財やサービスについて話し合う。 ○ 家計の収入と支出について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教 P. 128～131 ・ 教 P. 128 の「トライ」を活用させる。 ・ 希少性と選択に着目して、お金や資源の使い方について追究させる。（希少性） ・ 人の限らない欲求に対して消費できる資源には限りがあるという「希少性」の見方・考え方を捉えさせる。 ・ 資料 4 に出てくる「家計」「企業」「政府」の三つが経済の学習の大きな柱であり、今後はその柱に沿って学習を進めていくことを知らせる。 【評】 限られた時間やお金の中で、全てを実現することが不可能であることを調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 教 P. 132～133 ・ 経済活動の意義を、豊かさをもたらす分業と交換に着目して追究させる。（分業と交換） ・ 資料 1 を活用し、実体験も踏まえてどのような分業と交換が行われているかを考えさせる。 ・ 分業によって効率よく財やサービス、資源等を生み出していることや、それらを交換することにより、豊かな生活を送ることができるようになることをつかませる。 ・ 「表現」に取り組みさせることで、経済活動は分業と交換で成り立っており、それによって私たちのくらしが豊かになっていることを捉えさせる。 【評】 経済活動の意義について、分業と交換の視点を踏まえて説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 教 P. 134～135 ・ 収入と消費の関係を、希少性に着目して追究させる。（希少性） ・ 自分たちが普段どのようなものにお金を使っているのかを発表させた後、出てきたお金の使い道が財とサービスのどちらに当てはまるのかを話し合わせる。 ・ 資料 3 を基に収入と支出の種類について調

<p>○消費生活とお金について調べ、説明する。</p> <p>4 消費者の権利と自立を支える政府の働きについて考える。</p> <p>★私たちの消費生活を守るために、どのような仕組みがあるのだろう。</p> <p>○契約について話し合う。</p> <p>○消費者主権と消費者問題について考える。</p> <p>○消費者を守るための政府の働きについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者と生産者の間には情報の質と量や交渉力に格差があり、実質的には対等ではない。そのため、自由で公正な社会を目指して消費者の利益を保護する政策がとられている。 <p>5 ものの流れと情報の流れについて調べる。</p> <p>★私たちは、生活に必要なものをどのようにして手に入れているのだろう。</p> <p>○商業について調べる。</p> <p>○さまざまな流通の仕組みについて考える。</p> <p>○情報化が消費者や企業に与える影響について調べる。</p> <p>6 市場の仕組みと価格の決まり方について調べる。</p> <p>★価格はどのようにして決まり、どのような働きをもつのだろう。</p> <p>○海外旅行の料金表を見て話し合う。</p> <p>○価格の決まり方について調べる。</p> <p>○価格と資源の使われ方の関係について調べる。</p> <p>○小単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p>7 生産活動とその仕組みについて調べる。</p> <p>★生産に必要なものとは何だろう。</p>	<p>べさせ、資料5を活用することで貯蓄の必要性について捉えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在では貨幣に限らず、さまざまな支払い方法があることに気付かせる。 <p>【評】将来を考え、計画的に消費や貯蓄をすることの意味を資料を使って調べ説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教P.136～137 ・政府による消費者保護について、公正に着目して追究させる。（公正） ・資料1を活用し、契約が成立するのはどのタイミングなのかについて話し合わせる。 ・「アクティビティ」に取り組ませることで、消費者主権について公正や持続可能の観点から多面的・多角的に考えさせる。 ・消費者の努力だけでは防げない問題から消費者を守り、自由で公正な社会を実現しようとしていることを捉えさせる。 <p>【評】政府がなぜ消費者保護政策を行っているのかについて、公正の視点を踏まえて考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教P.140～141 ・流通と情報の関係を、分業と交換に着目して追究させる。（分業と交換） ・普段買い物に行く店は、大体が小売業者によるものであることに気付かせる。 ・「アクティビティ」に取り組ませることで、商業の働きと流通の合理化が進んでいる理由を、効率や分業と交換の観点から考えさせる。 ・教P.10～11や教P.62～63で取り扱った既習事項とも関連付けて情報化が消費者や企業に与える影響を捉えさせる。 <p>【評】情報通信技術の発達による変化を多角的に捉え、よい点と課題を考察する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教P.142～143 ・価格の働きを、効率に着目して追究させる。（効率） ・同じ旅行内容でも、日によって価格に違いがあることや、なぜそのような違いが生じるのかについて話し合わせることで、価格に影響を与える条件について考えさせる。 ・「アクティビティ」に取り組ませることで、需要曲線と供給曲線が変動することによって均衡価格が変化することを捉えさせる。 ・市場経済の仕組みについて、効率の視点から調べさせる。 <p>【評】価格の役割や価格の決まり方について調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教P.144～145 ・生産に必要なものについて、希少性に着目
---	---

<p>○ 企業について調べる。</p> <p>○ 生産に必要なものについて調べる。</p> <p>○ 知的資源と技術革新について考える。</p> <p>○ 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。 ■ 市場経済において、企業にはどのような役割と責任があるのだろう。</p> <p>8 株式会社の仕組みと企業の社会的責任について調べる。 ★ 株式会社は何を目的とし、どのような仕組みになっているのだろう。 ○ 企業の仕組みについて調べる。</p> <p>○ 株式市場の仕組みについて調べる。</p> <p>○ 企業の社会的責任について調べる。</p> <p>9 企業の競争と独占の問題について考える。 ★ 企業はどのように設立され成長し、どのような課題に取り組まなければならないのだろう。</p> <p>○ 資本主義経済による競争と企業の仕組みについて知る。 ○ 企業の競争には、どのような利点があるのかについて考える。</p> <p>○ 企業の競争による課題について考える。</p> <p>○ なぜ公共料金が存在するのかについて考える。</p> <p>○ 企業の競争によって生じる利点と課題について説明する。 ・ 企業の競争によって品質の向上、生産費の引き下げなど利点があるが、企業の競争が弱まると独占の問題、品質の停滞、価格の引き上げなどの問題点が生じる。企業の公正で自由な競争が資本主義経済の健全な発展につながる。</p> <p>10 グローバル化する経済と現代の企業について調べる。 ★ グローバル化する企業の活動には、どのような変化と課題があるのだろう。 ○ グローバル化による企業競争について調べる。</p>	<p>して追究させる。（希少性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普段何気なく利用しているものやサービスが多様な企業によって生み出されていることに気付かせる。 ・ 四つの生産要素が必要であることを捉えさせるとともに、「公民＋α」を活用し、生産要素の中でも特に知的資源が重要視されていることに着目させる。 ・ 「表現」に取り組ませることで、既習事項と関連付けながら知的財産や技術革新の重要性について考えさせる。 <p>【評】 企業の生産活動にはさまざまな生産要素があることを調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 教 P. 146～147</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業の目的、仕組み、責任を効率と公正に着目して追究させる。（効率と公正） ・ 最も代表的な私企業である株式会社の仕組みに焦点を当てさせ、株主と株式会社との関係や、株主総会の役割について調べさせる。 ・ 「アクティビティ」に取り組ませることで、株主はさまざまな目的をもって株式投資を行っていることを感じ取らせ、株式市場の仕組みに触れさせる。 ・ 調べる中で、企業の社会貢献活動と自分との関わりについて振り返らせる。 <p>【評】 株式会社の仕組みと活動の目的について調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 教 P. 148～149</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 競争によって、独占や寡占の問題も起こることを効率と公正に着目して追究させる。（効率と公正） ・ 商品を購入した経験や資料 1～3 から、市場での競争は価格の引き下げや商品の品質向上につながり、消費者に利益をもたらすことに気付かせる。 ・ 競争の結果寡占や独占の状態になると、逆に価格の引き上げや品質の停滞が起こることを捉えさせる。 ・ 資料 8 を活用し、どのようなものが公共料金として定められているのかを確認した上で、もしそれらに価格カルテルが起こったらどうなるかを予想させる。 ・ 企業の競争は消費者の利益になることもあるが、効率を求めて公正さを失うこともあることを捉えさせる。 <p>【評】 企業の競争によって生じる利点と問題点について、効率と公正の視点を踏まえて説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 教 P. 150～151</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業活動の意義を、国境を越えた分業と交換に着目して追究させる。（分業と交換） ・ 地理的分野での学習と関連付けることで、日本が近年どのような国と産業的な結び付きを強めているかについても確認させる。
---	---

<p>○自由貿易について考える。</p> <p>○企業活動がグローバル化することによる利点と課題について説明する。</p> <p>11 企業活動と景気の変動について調べる。 ★景気は私たちの生活とどのように関わっているのだろう。</p> <p>○なぜ景気の変動が起きるのかについて考える。</p> <p>○景気の変動の仕組みについて調べる。</p> <p>○インフレとデフレについて知る。</p> <p>12 働く意味と労働者を支える仕組みについて考える。 ★人はなぜ働くのだろう。また、働きやすい職場には、何が必要なのだろう。</p> <p>○なぜ人は働くのかについて考える。</p> <p>○労働者と企業の関係と、労働者を支える仕組みについて調べる。</p> <p>○労働者を支える仕組みと働く意味について考える。</p> <p>13 変化する雇用の形について調べる。 ★日本の雇用には、どのような変化や課題があるのだろう。</p> <p>○雇用に関する問題への考え方について話し合う。</p> <p>○雇用の変化について調べる。</p> <p>○雇用の課題と解決策について考える。</p> <p>14 女性の働く環境と高齢者雇用について調べる。 ★女性と高齢者の雇用の重要性が高まっているのはなぜだろ</p>	<p>・国境を超えた分業と交換によってよりよい商品が作られ、世界経済が豊かになることを捉えさせる。</p> <p>・「アクティビティ」に取り組ませることで、自由貿易と関税について、多面的・多角的に考えさせる。</p> <p>【評】グローバル化による課題や対立について、お互いの利害関係に着目しながら自分の意見を説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教 P. 152～153</p> <p>・景気の変動とその影響について、効率に着目して追究させる。（効率）</p> <p>・資料2を活用し、景気変動の原因や、好況期→後退期→不況期→回復期と四つの局面を繰り返しながら経済成長していくことを捉えさせる。</p> <p>・資料3を活用し、調べたことを項目ごとにまとめさせる。</p> <p>・インフレとデフレはどのような状況になるのか確認して、これからの日本経済は何を重要視すればよいのかを考えさせる。</p> <p>【評】景気変動が社会的・経済的にどのような影響を与えるか調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教 P. 154～155</p> <p>・働くことの意味と労働者保護の大切さを分業と交換に着目して追究させる。 （分業と交換）</p> <p>・収入を得て安定した生活を送るためといった個人的な側面と、分業と交換に基づく社会参画をしているといった社会的な側面との両面から捉えさせる。</p> <p>・日本国憲法での学習を振り返りつつ、労働基準法や労働組合について憲法の条文も踏まえて調べさせる。</p> <p>・「公民+α」を読んで、働くことの意味について捉えさせる。</p> <p>【評】勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の内容について調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教 P. 156～157</p> <p>・望ましい雇用の仕方と働き方のバランスについて、効率と公正に着目して追究させる。（効率と公正）</p> <p>・前時の学習内容では、労働者の立場が弱くなりがちであることを確認させる。</p> <p>・派遣労働者の意見と経営者の意見について話し合わせる中で、日本における雇用形態の特徴や課題について捉えさせる。</p> <p>・非正規雇用労働者や外国人労働者が増加していることなどを、資料2、4を基に捉えさせる。</p> <p>【評】労働環境の変化に伴って発生している課題について考察し、表現する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教 P. 158～159</p> <p>・女性や高齢者の働き方について、効率と公</p>
---	--

<p>う。</p> <p>○女性の働き方について調べる。</p> <p>○女性や高齢者が働きやすい環境について話し合う。</p> <p>○雇用と労働に関する学習を振り返り、将来どのように働きたいかについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ずしも雇用者が私たちを守ってくれるわけではないので、労働基準法などをしっかりと理解した上で、ワーク・ライフ・バランスが実現できるような働き方をしたい。 <p>○小単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p>15 金融の仕組みについて調べる。</p> <p>★金融とは何で、どのような仕組みになっているのだろう。</p> <p>○お金のもつ役割について調べる。</p> <p>○金融の意味について調べる。</p> <p>○銀行の働きについて調べる。</p> <p>○小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>■金融の仕組みは、私たちの生活とどのように関わっているのだろう。</p> <p>16 日本銀行と金融政策について調べる。</p> <p>★経済活動の支払手段である通貨は、だれがどのように管理しているのだろう。</p> <p>○日本銀行の働きについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本銀行は発券銀行、銀行の銀行、政府の銀行の三つの働きをもっており、一般の銀行とは違って家計や企業にお金を貸すことはない。 <p>○日本銀行が行う金融政策について調べる。</p> <p>○日本銀行が行う金融政策について、具体例を挙げて説明する。</p> <p>17 金融のグローバル化と為替相場について調べる。</p> <p>★なぜ円と外国通貨を交換する必要がある、交換比率が変化するのだろう。</p> <p>○円と外国通貨を交換する必要性について考える。</p>	<p>正に着目して追究させる。（効率と公正）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「確認」に取り組みせることで、女性の社会進出がまだまだ進んでいない現状や、他国に比べて遅れていることを捉えさせる。 ・資料を基に根拠を明確にした上で、どのようなことを改善していく必要があるのかを多面的・多角的な視点から話し合わせる。 ・第 13～14 時で学習した内容を踏まえ、現代の雇用の在り方について考えさせた上で、どのように働きたいか、どのようなことに気を付けていきたいかなどを記述させる。 <p>【評】雇用と労働に関する学習を振り返り、将来どのように働きたいかについて考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 162～163 ・お金の貸し借りの意義について、希少性に着目して追究させる。（希少性） ・お金のもつ役割には、価値の尺度、交換手段、価値貯蔵手段があることに気付かせる。 ・資料 2 を活用し、私たちが銀行にお金を預けるという身近な行為が、金融の働きにより企業や新事業の資金になるなど、経済の活性化につながっていることに気付かせる。 ・銀行はどのようにして利益を生み出しているのかについて考えさせたり、直接金融と間接金融の違いについてまとめさせたりする。 <p>【評】直接金融と間接金融、金融機関の役割を調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 164～165 ・日本銀行の役割について、効率と公正や安定に着目して追究させる。（効率と公正） ・日本銀行のもつ三つの働きに着目させ、一般の銀行とは違う役割があることに気付かせる。 ・資料 4 を活用し、日本銀行は景気の良し悪しに応じて国債を売買し、景気の安定を図ろうとしていることに気付かせる。 ・「確認」に取り組みせることで、金融政策についての理解を深めさせる。 <p>【評】日本銀行のもつ三つの働きについて一般の銀行との相違に着目して調べ、説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 166～167 ・円と外国通貨との交換の必要性和重要性について、国境を越えた分業と交換に着目して追究させる。（分業と交換） ・交換できない場合、海外旅行に行くとどうなるかなどを予想させ、通貨交換の必要性に気付かせる。
---	---

<ul style="list-style-type: none"> ○円高と円安について調べる。 ○為替相場の変化による影響について考える。 <p>18 単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★単元のまとめをして、自分の考えを見直そう。 ○語句の意味を確認する。 ○単元の学習問題について自分の考えをまとめる。 ○グループで意見交換をする。 ○学習を振り返る。 	<p>【評】為替相場の変動によって個人や企業がどのような影響を受けるのかを考察し、説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 168～169 ・既習事項の知識について確認させ、整理させる。 ・ピラミッドチャートを活用して、考えを整理させる。 ・級友の意見を参考に、自分の考えを見直すことで、考えを再構築させる。 <p>【評】単元の学習問題について振り返る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>
---	--

【 備 考 】